

## 「サーマ・スラブ」コントローラ リレーユニット 結線・確認要領

－DFC202TS(コントローラ)－  
－DRB251(リレーユニット)－  
－ 1 系 統 制 御 用 －

### 目 次

- 0. スイッチボックス取り付け上の注意
- I. コントローラ結線概略図(1系統制御)
- II. 施工後の結線確認
- III. お願い① リレーユニットに回路No.と抵抗値の記入
- IV. お願い② 初期設定値の確認、現在時刻の設定
- V. 詳細設定:時刻の設定、チャイルドロック設定
- VI. 詳細設定:初期値の設定
- 付図1. コントローラ外形図
- 付図2. コントローラ 回路図
- 付図3. リレーユニット外形図・回路図
- 参考:ケーブル類の取り付け方法

コントローラ結線時にご用意いただく図面等

- ・電熱パネル結線図
- ・サーマスラブ工事検査書(抵抗値、絶縁値検査)

## 0. スイッチボックス取り付け上の注意

### 【ロックアウト穴】

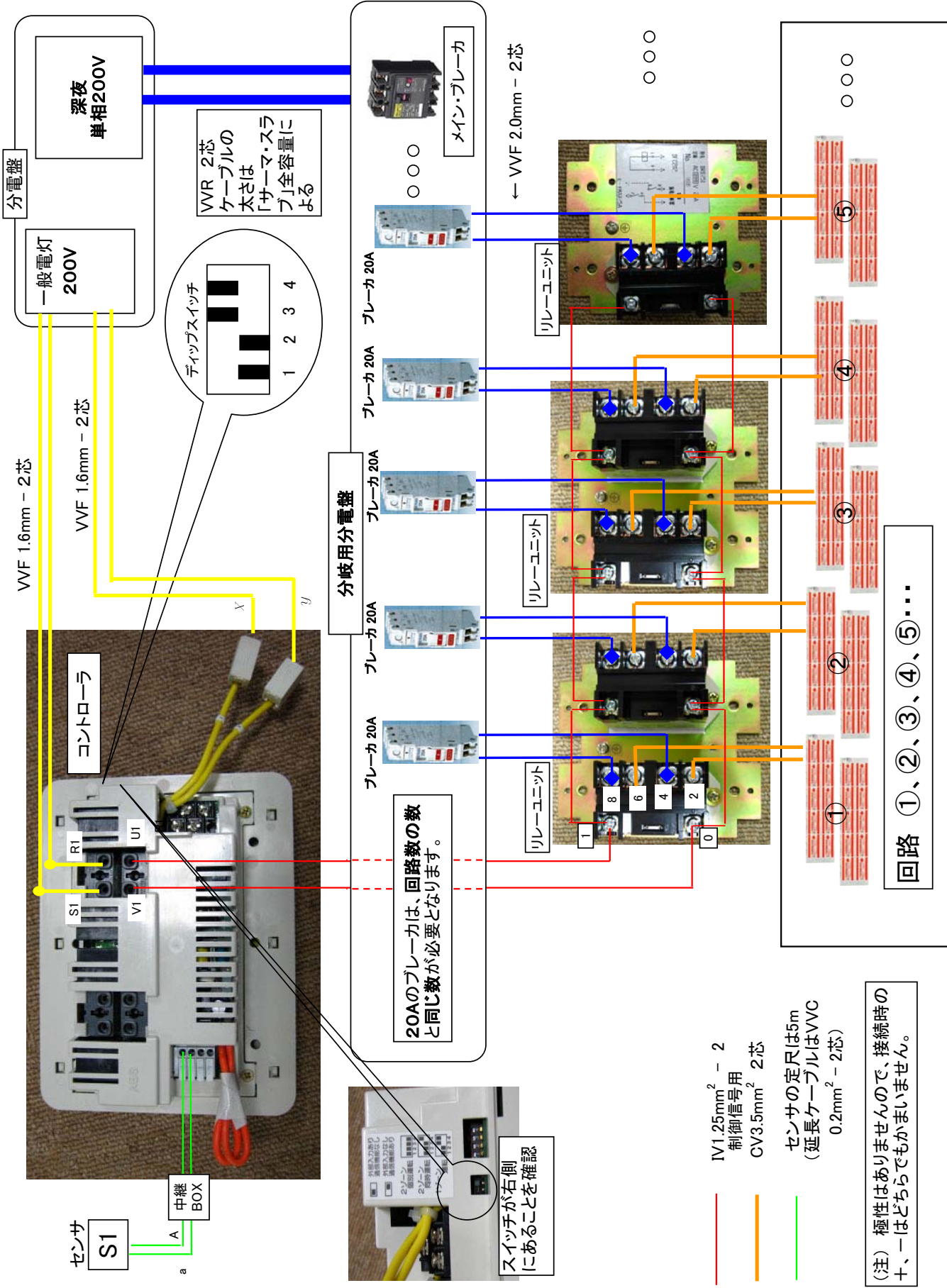


製品の発熱を抑えるために、未使用部分も含めてロックアウト穴全てを取り外す。

### 【付属の金属製ボックス】

製品の発熱を抑えるために、付属の金属製スイッチボックス以外は使用しない。

# I. コントローラ結線概略図(1系統制御)




I. コントローラ結線概略図(1系統制御)






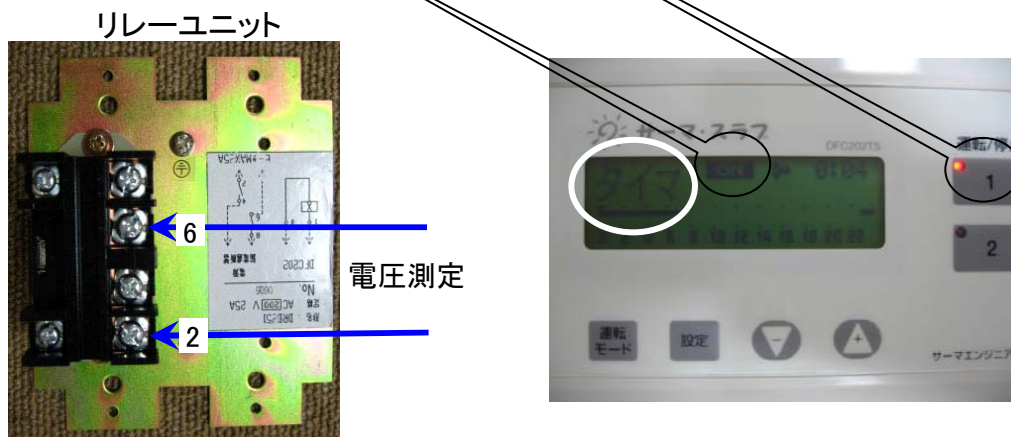
## Ⅱ. 施工後の結線確認



### 【準備】

- (1)分電盤200V(一般電灯用) ブレーカをON  
チャイルドロックの鍵のマーク  と時刻が表示されていることを確認
- (2)分電盤200V(深夜電力用) ブレーカをON
- (3)分岐ブレーカ をON







### 【系統1(ゾーン1)】の結線確認

1. リレーユニットのヒータ側が**0V**であることを確認
2. 時刻を22:59にセットする
3.  を2秒程度押す  
運転/停止の  の赤ランプが点灯  
タイマ運転になっていることを確認する(なっていないときは、 を押して切り替える)。
4. 23:00過ぎリレーの作動音があることを確認する  
画面の表示が、OFFからONに切り替わることを確認
5. 各リレーユニットのヒータ側が**200V**であることを確認



6.  を2秒程度押す→運転/停止の  のランプが消灯
7. 時刻を現在時刻にセットする
8. 確認作業終了後、分岐ブレーカ、分電盤200V(深夜電力用)のブレーカをOFF  
[200V(一般電灯用)のブレーカはONのままにしておく: 設定した現在時刻を維持するため]

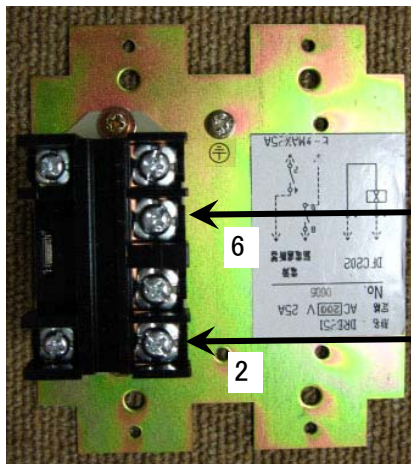
### ※時刻のセット方法

- ・  を2秒程度押す →  → 
- ・  と  で時刻を変更。
- ・  を押す

2系統(2ゾーン運転)の場合は、 を押して、上記1. ~8. を行ってください。

### Ⅲ. お願い① リレーユニットに回路No.と抵抗値の記入

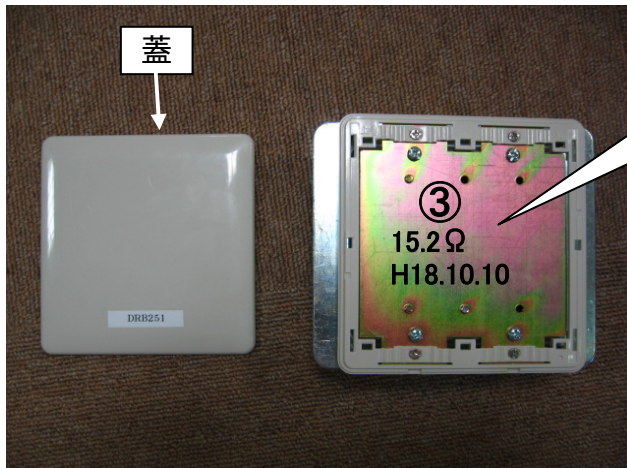
・リレーユニット結線完了時に抵抗値の測定、絶縁抵抗の測定をお願いします



デジタル・テスターで、  
抵抗値(Ω)を測定してください。

測定後、「サーマスラブ工事検査書」に記入し、弊社へFAXしてください。

・リレーユニットに回路No.、抵抗値、測定年月日を記入



マジックで  
記入してください




・リレーユニットの蓋をはめてください

## IV. お願い② 初期設定値の確認、現在時刻の設定

- ・「サーマ・スラブ」用200V(一般電灯)のブレーカをONにする
- ・チャイルドロックのマークが液晶画面に表示されていることを確認。

表示されていない場合には、次項(V項)参照

### ・初期設定値の確認

 と  ※ を2秒程度押す  
 を押す

ゾーン1-1	35.0℃	23:00	→	7:00
ゾーン1-2	35.0℃	0:00	→	0:00
ゾーン2-1	35.0℃	23:00	→	7:00
ゾーン2-2	35.0℃	0:00	→	0:00







※

ここは、何も操作しないでください

 と  ※ を2秒程度押す

### ・現在時刻の設定

⇒ 設定方法の詳細は、V-1項を参照してください。

 を2秒程度押す →  →   
 と  で現在の時刻に変更する  
 を押す

- ・「サーマ・スラブ」用200V(一般電灯)のブレーカはONのままにしてください  
ブレーカをOFFにしますと、**数日後に現在時刻がリセット**されてしまいます。

※ 1ゾーン制御(1系統制御)の場合には必要ありません。

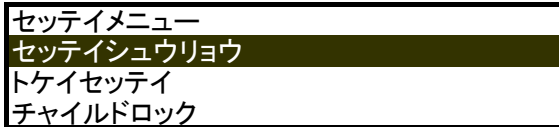
## V. 詳細設定:時刻の設定、チャイルドロック設定

### 1. 現在時刻の設定(時計設定)

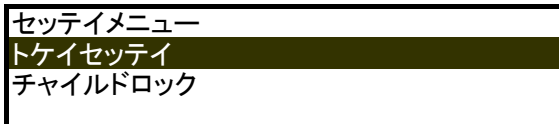
- ① 時計表示のみの時に【設定】ボタンを長押し(約2秒)してください。



- ② 画面表示がセッテイメニューに切り替わります。



- ③ 【運転モード】ボタンを押し、トケイセッテイに合わせます。



- ④ 【設定】ボタンを押すと画面表示が切り替わります。

※【△】ボタンと【▽】ボタンで時間の変更を行います。



- ⑤ 時間を合わせた後、【設定】ボタンを押すと上記①の時計表示の画面に戻ります。

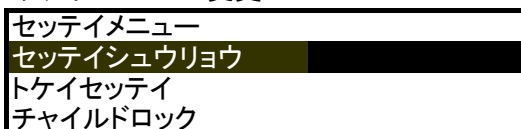
※念のために現在の時刻が表示されていることを確認してください。  
誤って【運転モード】ボタンを押しますと、時間の変更が行われません。

### 2. チャイルドロックの設定

- ① 時計表示のみの時に【設定】ボタンを長押し(約2秒)



- ② 画面がセッテイメニューに変更



- ③ 【運転モード】ボタンを押し、チャイルドロックに合わせます。



- ④ 【設定】ボタンを押し、



- ⑤ 【△】ボタンと【▽】ボタンで、設定の有無(アリ、ナシ)を選択します。



チャイルドロックが設定されているときに表示されます。

- ⑥ 設定後、【設定】ボタンを押して登録をします。





## VI. 詳細設定: 初期値の設定

- ① 下記の画面表示時に【設定】ボタンを押します。

<b>タイマ</b>	1 OFF	0:00
	2 OFF	
0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22		

- ② 画面表示が切り替わります。

ゾーン1-1	30.0°C	0:00	→	0:00
ゾーン1-2	30.0°C	0:00	→	0:00

- ③ 【△】ボタンと【▽】ボタンで設定温度を35.0°Cに変更します。

ゾーン1-1	35.0°C	0:00	→	0:00
ゾーン1-2	30.0°C	0:00	→	0:00

- ④ 設定温度変更後に【運転モード】ボタンを押し、開始時刻にカーソルを合わせます。  
※設定温度と同様に【△】ボタンと【▽】ボタンで開始時刻の変更を行います。

ゾーン1-1	35.0°C	23:00	→	0:00
ゾーン1-2	30.0°C	0:00	→	0:00

- ⑤ 開始時刻変更後に【運転モード】ボタンを押し、終了時刻にカーソルを合わせます。  
※設定温度と同様に【△】ボタンと【▽】ボタンで開始時刻の変更を行います。

ゾーン1-1	35.0°C	23:00	→	7:00
ゾーン1-2	30.0°C	0:00	→	0:00

ゾーン1-2、ゾーン2-2の開始時刻、終了時刻は、  
**0:00**  
以外の時刻にしないでください。

- ⑥ ゾーン2の設定を行うため、【運転モード】ボタンを押し、下記の画面表示に切り替えます。

ゾーン2-1	30.0°C	0:00	→	0:00
ゾーン2-2	30.0°C	0:00	→	0:00

- ⑦ 上記②~⑤(ゾーン1と同様)の操作を行います。

(※1系統制御の場合は、上記⑥、⑦の操作は不要となります。)

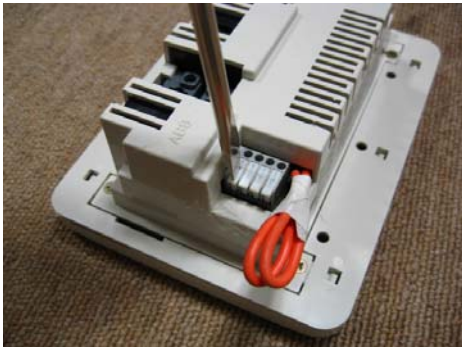
- ⑧ 変更後、【設定】ボタンを押して登録を行います。

最初の画面に戻ります。

# 参考: ケーブル類のコントローラへの取り付け方法

## 1. センサの取り付け方法

① マイナスドライバーで押し込んでください



② センサ端末を奥まで差し込んでください



③ センサ端末挿入後に指、ドライバーなどで押し上げてください



## 2. 制御信号用線 (IV線) の取り付け方法

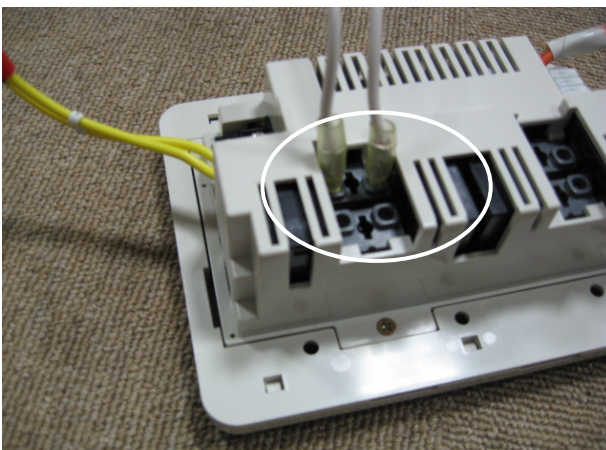
① IV線を棒圧着端子に挿入して圧着してください



② 絶縁キャップをはめてください



③ スクリューレス端子に棒圧着端子を奥まで差し込んでください



※IV線(制御信号用)はリレーユニットへ接続します

### 3. 単相200V電源(一般電灯用)の取り付け方

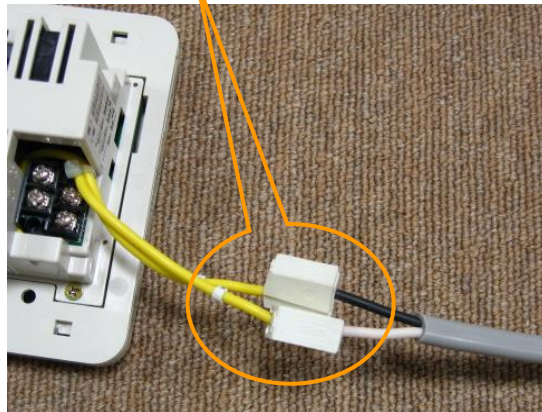
- ① VVF 1.6mmケーブル



- ② スクリューレス端子にVVFケーブルを奥まで差し込んでください



- ② スクリューレス端子にVVFケーブルを奥まで差し込んでください





サーマエンジニアリング株式会社

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内3-2-29

<http://www.therma.co.jp/>

営業所：東京、札幌、金沢、仙台、福岡